

副議長所信表明

このたび菊川市議会副議長に立候補いたしましたみどり21の赤堀博です。
副議長立候補にあたり所信の一端を申し上げます。

新型コロナウイルス感染が日本国内で初めて確認されてから、丸3年が経ち、この3年間であわせて8回の感染拡大の波を経験し、現在の第8波では連日、報道される死者数が過去最多となる日もあり、厳しい感染状況となっています。また、昨年2月ロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化や経済制裁と報復の応酬によって、食料・資源などの供給不足・価格上昇が世界経済の下振れ、また、日本国内においてもあらゆる面で悪影響を及ぼしております。議会として、市民の皆さまが不安なく安心して暮らせる施策を執行部に提案していかなければなりません。

副議長は、議会の代表者である議長の補佐、また、代理として様々な会議への出席、近隣市町議会との調整、連携等の役割があると認識しております。

また、菊川市議会基本条例の目的とする議会の活性化を図り、市民の付託に応えられる開かれた議会運営を実現し、市民福祉の増進と市政の発展を目指し、二元代表制の一翼を担う自治体の議会機能が十二分に発揮できるよう努力し、活動してまいります。

そして、副議長の一つの役割である 広聴広報活動があります。デジタル化が急速に進んでいくなか、市民の皆さまに情報提供、説明責任がしっかりと果たせるよう取り組んでまいります。また、3年ぶりに開催されたこども議会では、大人が思いもしないようなアイデア、意見があつてとても良かった半面、先生方の負担も多く改善の必要があり、議員の皆さんの協力でより良いこども議会が開催できますようお願い申し上げます。

議員の皆さまのお知恵と協力をいただきながら、全力で議長を支え、議会の活性化及び信頼される議会の実現のために尽力したいと決意しております。議員の皆さまの特段のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。

赤堀博をどうぞよろしくお願い申し上げます。